特定非営利活動法人 呉こどもNPOセンターYYY 広報誌

2019.10.25 発行 ￥200

やっちき通信

197号

10月20日現在
子ども会員：202人
正　会　員　：　37人
賛 助 会 員：231人
31団体

YYYの秋

しりたがり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・02
おとな塾・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・03
パパインタビュー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・04
あいのてさん♪/インナー選びで理想のわたしボディ・・・・05
特集～忍者まちを走る～・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・06～08
東京オトナ LIFE/ティーンズ+・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・09
特集～秋のかわらでいも煮会・・・・・・・・・・・・・・・・・・10～11
母娘バリ日記②・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

やまもとかずこの知りたがりややトーク

台風 19 号の被害により亡くなられた方に謹んでお悔やみを申し上げますとともに被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

またしても大きな自然災害。昨年、豪雨を経験した私たちは、被害に遭われた方々の痛みがよく分かるだけに、大したことはできなくても何とか力になりたい、ちょっとでもお役に立ちたい…と気持ちは逸るものの、残念ながら、今のところ募金活動くらいしか取り組めていません。ただ、以前にも書きましたが、大したお金も出せない、力仕事もできない者としては、日常の経済活動を止めないこと、元気でいること、できるだけ自立して生活することで、(遠回しではありますが)貢献できればと思っているしだいです。都合のいいこと言っちゃって！と思われるかもしれませんが、「まちづくり」において、地域の中でお金が循環すること、みんなが元気で暮らしていることに勝るものはない！ですよね。

こんな時だからか、元気をもらう場面によく出くわします。言うまでもなく、一つはラグビーワールドカップ。日本代表は私たちを目いっぱいワクワクさせてくれました。そして、どんなに追い込まれても、最後まで諦めない！という心強いメッセージを届けてくれました。

また 10 月 13 日、台風の影響で、中止になった 1 次リーグ「ナミビア対カナダ戦」。カナダ代表チームは、市民の応援やもてなしへの感謝の気持ちを示そうと、被災した釜石の市街地で土砂を片づける清掃ボランティアに参加したのだとか。ナミビア代表の方も、被害を受けた市民を元気づけたいと、キャプテンのヨハン・デイセル選手など 25 人が、市民との交流を企画。それらのニュースは、私たち日本人をとても温かい気持ちにしてくれました。

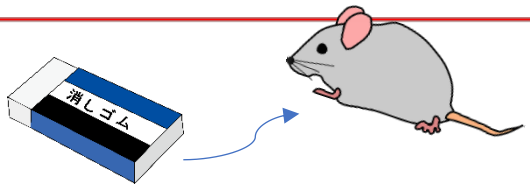
また先日、週 1 で勤務している高校で、日本人初の BMX オリンピック日本代表、阪本章史さんの講演を聞く機会がありました。BMX とは、自転車競技の一種ですが、オリンピックの正式種目になった当時は、スポーツというよりも遊びに近いという捉え方をされていたようです。最初は監督やスタッフからもあまり相手にされていない感じだったそうですが、お願いして練習に付き添ってもらい、実際に競技の様子を見てもらうことで、関係性が徐々に改善、不信感が払拭できたのだそう。彼はその五輪での経験を「自分の対応次第で、他者からの理解は得られる。小さな努力を続けることが大事！絶対に諦めない！」と力強く語られていました。

そして、YYY の中高生たち。学校や部活、習い事や塾…など、それぞれに忙しい日常をやりくりしながら、現在、今年 4 つ目のイベントを計画中です。何かがあるから、これはできん、あれはできんって簡単に諦めることなく、上手にスケジュールを調整しながら事務所でワイワイ企画をすすめています。途中で、学校や部活のこと、好きなアーティストに、やりたいことや行きたいところ…などの話題ふりまきながら…。隣で聞いていると、こっちまで楽しくなります。そのキャラのまま大人になってね！

ってことで、最近の子どもたち、若者たちも頑張ってます。簡単には諦めたりしませんよ！その姿は、周りにいる私たち大人をどんどん元気にしてくれます。それこそが「まちづくり！」の原点。本当にそうだよね。

Nextおとな塾

秋の夜長に　消しゴム はんこ

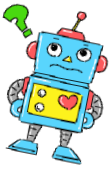


講　師：橋本 明音さん

【日　時】11 月 12 日(火)19:30～21:00
【場　所】YYY 事務所
【参加費】1700 円(材料費・おやつ付)

What's ??? プログラミング教育

講師：長山 弘さん
（広島大学付属東雲小学校非常勤講師）
寺内 大輔さん
（広島大学大学院教育学研究科准教授）



「ハイジ！ト○イのプログラミングコースができるからって絶対行かないでね。2020 年から必須になるからって抜け駆けしちゃだめよ！」って CM 知っていますか？クララの絶叫を聞きながら「小学生がコンピューターを作るんかぁ？」と思っていた私。今回のおとな塾では、プログラミング教育の研究者である長山弘さんと，音楽家の寺内大輔さんを講師にお招きして、それは大きな勘違いだった！ということを教えていただきました。

ズバリ！プログラミング教育とは、「プログラミングのスキルそのものを育むことよりも『プログラミング的思考』と呼ばれる，感情や直感に頼らず論理的に筋道を立てて整理された考え方を育む教育」(by 文部科学省)なのだそうです。「プログラミング」という教科が設けられている訳ではなく、国語算数理科社会生活家庭科音楽図画工作体育外国語、すべての教科で論理的な「プログラミング的思考」が身につくように先生の指導が変わると言う方が分かりやすいのかもしれません。

来年度から必修化されるプログラミング教育ですが、義務教育に取り入れられた背景には、これから予想もつかない世の中がやってくることが意識されています。具体的に言うと、いまある仕事がなくなったり、いまはない仕事が生まれたりするであろう近い将来に向けて、「子どもたちは、子ども時代には何を勉強しておくべきなの？」という疑問が自然とわきあがってきます。それに対して，様々な問題を解決するための論理的思考力を育むことが必要ですよね！ってことになったわけです。

「これからの世の中を生き抜く力を身につける」と謳われると、親としては気になるもの。すでに小学生から人気のある習い事第１位はプログラミング教室だそうです。このプログラミング教育、「国家戦略？」との見方もできるくらい各国で広まっているそうで、来春日本で導入されると、「11 番目に小学校での必須科目にした国」になるそうです。イギリス、韓国等はもう始めているし、これからどんどん取り入れられる兆しが…。(番外編として、アメリカでは，プログラミングも含む，理系の各分野を統合したステム教育をオバマ大統領が推し進めていたのですが，次の大統領が予算を 60%減らしたそうです。)

来年度、晴れて小学校教師として赴任する方からは「教育学部でプログラミング教育の指導法なんて学んでないよ～。」って衝撃的な一言が…。今現場にいる先生たちからも「プログラミングについてはよく知らない」「答えがひとつに決まっている訳ではないので難しい」「手引きが欲しい」との声が上がっているそうです。え？来年度から始まるんよね！って思うけど、日々の業務でさえ忙しい現場では仕方がないのかな？非常勤講師や外部講師を雇うという対策もあるそうですが、教育費の予算が減らされている現状で、どれだけ対応できるのでしょうか。ちなみにプログラミングの教材も高価だそうですよ。大丈夫かな？

教育現場での様々な問題が毎日のように報道される中、新しい試みがどう影響するか、多忙→教師のストレス→子どもへの横柄な対応、という悪い連鎖にならないよう、このプログラミング教育の導入が子どもたちの幸せにつながるといいですね！

(山本さなえ)

イクメンなんて呼ばないで笑

パパインタビュー ～Vol.6～

イクメンなんてもう古い!?そんな言葉で呼ばなくたって、日々子育てを楽しんでるパパ、いっぱいいます。YYY のまわりでは、数年前からパパ急増中。そこで、まわりのパパにスポットをあてる、パパインタビュー。

今月は若くして社長業に奔走する、だちくん。こないだ盲腸にもなってたそうで、それぐらい「社長」ってめちゃめちゃ忙しい!?子どもとの時間とかある!?聞いてみました。

―家で家事とかしとる？

ぜんっぜんしてない(笑)一人暮らしが長かったけんやろうと思ったらできるけど、仕事が忙しいので、完全に妻に頼ってます。何かやっても妻の求める水準にはほど遠いようで、ああ力不足だなと(笑)

たまに妻と子どもが実家に帰って一人になるときは、掃除洗濯ぐらいはやるよ。そういう時だけは、やればできるって自分に言い聞かす意味でも、ちょっと気合が入ったりします(笑)

―お子さんは？

3歳男の子と0歳女の子。

―仕事はなにを？

株式会社こっこーの社長。なかなか忙しいですね。

―少ない休み 子どもとなにしてすごしますか？

ポケモンごっこしたりね(笑)ぬいぐるみで戦いしよるよ。うちの息子も、たまにおるお父さんの顔見る度に「戦いしよ？」って声かけてくるので、男の子だなぁと微笑ましい気持ちになりますね。

映画も行ったよ、ポケモンとかトイストーリー、ドラえもんもアンパンマンも。動物園に行ったり、旅行も行った。休みはなるべく家族とすごすようにしとるよ。でも、休み自体がそもそも少ないので、家族には寂しい思いをさせとると思います。

―得意なことは？

得意なこと…ってあんまないよね。まぁ、しゃべるのが得意ね。お酒を飲んで楽しそうにするのも得意よ(笑)

―趣味はなんですか？

最近、趣味に割く時間が少なくて、本当に趣味なんかどうかわからんくなって来たんじゃけど…。でもずっと好きなのは音楽とカープかな。音楽は聴くほうじゃけどね。こっちに帰ってくる前は、フジロックとか、野外の音楽フェスによく行きよったよ。野外フェスは、開放感、非日常感、そういうのが魅力じゃね。実は妻にプロポーズしたのも、フジロックの会場でした。音楽もそうなんじゃけど、カープも、青空の下で真昼間から飲めるのがいいよね～。

―リフレッシュ方法は？

最近よくライブ行くね。こないだの呉信用金庫ホールのユニコーンも行ったよ。あと広島パルコのクラブクアトロによく行ってます。最近出張のたびに、その地域のライブハウスとかでなんかやってないかな～って調べよる。

―子育てで楽しいことは？

初めてしゃべったり歩いたり、そういう時、絶対俺おらんのんよ(笑)で、妻から動画がくる。嬉しい。嬉しいけど、ああ、また立ち会えんかったって(笑)まぁそうやって成長がみれるのが嬉しいよね。

―将来的にどんな親子になりたい？

子どもと一緒に、お酒でも飲みに行きたいな～。お父さんのなじみの店に。とにかく仲がよくて、何でも相談できる家族でいたいです。

厳しい父の元で育ったんで、どう子どもと接していいかわからん時がある。必ずしも、自分の理想の父親像が正解なんかわからんし。仕事も忙しくて、且つ子どもがワガママを言ったりすると、いらいらすることも結構ある。そういう時は自己嫌悪に陥ってしまうことが多いかな。最近は、忙しくても、とにかく心の余裕を作ることが必要だと思って、リフレッシュを心掛けてます。自分だけじゃなくて妻のリフレッシュにも協力せんといけんね。

（インタビュアーかずこ）

—鑑賞部 こころゆさぶる舞台芸術鑑賞事業 2019—

あいのてさんと たん♪たた♫たん♪

11月の「あいのてさん」を盛り上げよう！音で遊ぶってどんなの？ってことで、おや子 5 組が集まってしゃべったり、遊んだりしてみました！

身近な物で音を出してみよう！

机を叩くゲームをしたり、飾りつけたペットボトルにビーズやアイスのスプーンを入れて振ってガラガラならしてみたり。最後は音楽に合わせて、色んな音を出しながら踊りました♪盛り上がったね～☆

参加してくれたママは、「自分が人見知りじゃけんどうしよーって思ったけど、子どもはもちろん、自分も楽しかった！話しやすい人ばかりで良かったー！また遊びにいくね♪」って言ってくれました！！(これが聞けただけでも私は嬉しい！)

おやつはみんな大好き…♡

呉名物、クリームパイを囲みながら、ママが一息つく時間も。おいしいものを囲みながらぺちゃくちゃお話するのって楽しいよね～♡ おやつ囲んで悩みや近況を話す会、お互いに子どもを連れてるし、気兼ねなく居座れる場所、そんな会また開こうね♪ (岡下)

なんでもいい？わけじゃない！！

インナー選びで 理想のわたしボディ

「何歳になっても若々しくいたい！」「カッコよく歳を重ねたい！」「病人にはなりたくない！」…男女問わず、そう思っていらっしゃる方は多いことでしょう。私もその中の一人、じゃあどうすれば？と悩んでいた時、出遭ったのが“下着”でした。

下着と一口に言っても、一般的なものや健康の為の下着、美しく見せる下着と用途は様々。今回は誰もが付ける一般的な下着の役割についてお伝えしたいと思います。

毎日お世話になっているであろう下着。これに付く、汗や皮脂の汚れ、老廃物、気になりませんか？身体にスプレーしたり、消臭効果のある洗剤、汗ジミ(;'∀') 防止とかの柔軟剤等で対策されている方もいらっしゃるようですが、お肌が敏感な方にはちょっと不向き。そんな方にお勧めなのが下着選びです。下着を変えるだけで、快適に過ごせちゃいます。

例えば暑い夏、Y シャツだけだと背中が汗でべったり、ブラだけだと透けたり脇に汗ジミができたり…と折角のオシャレが台無しです。暑いんだからインナーまではねぇという方。そもそも、下着の役割をご存知ですか？えっ～？隠すだけじゃないの？じゃぁなんで着るの？と思ってるそこのあなた、下着には、次のような大きく 3 つの効果があります。

1. 体温調整⇒寒いときには体温を外へ逃がしにくく保温、暑い時には汗や皮脂を吸収して熱を発散。着た方が涼しいというわけです。冷房が効いている室内と外気の温度差から身体を守るという効果もあります。

2. 吸収・吸湿⇒皮膚から出る汗や皮脂、老廃物は、身体を冷やしたり、ムレ、臭いの原因に。ムレや臭いは気になりだしたら精神的にも良くありません。肌着を着ることでそれらを吸い取り、身体を清潔に保ちます。直接肌に触れない分、アウターの汚れも防いでくれますよ。

3. 肌の保護⇒肌を外からの刺激から守ること。そして品質の高い素材であれば、リラックス効果も期待できます。

下着を上手に選ぶことで、あなたの人生は大きく変わります。より豊かに快適に過ごせるようになることでしょう。価値観は人それぞれですが、下着にもちょっぴりこだわってみませんか？

(インナーコーディネーター：甲田直美)

10 月 27 日(日)中通り 2 丁目 参加者約 80 名

第 12 回 忍者まちを走る

長剣修行!よけろ～～!!

12 回目の忍者。小学生の時に参加した子が、今やサポーターに！歴史を感じるわぁ～。何回やっても楽しいし奥が深い！

風呂敷を巻いてあっという間に忍者に変身！子どもたちの心は浮き立つ。今年のお頭「トマト」のかけ声で、長剣修行で体をほぐし、見る修行、聞く修行で感覚を研ぎ澄ます。忍者の心得を伝授され、この日一緒に過ごす仲間とごあいさつ。グループごとに心をほぐす修行を経て、中通 2 丁目へ向けて GO！ビューポートを出て向かうはせんとく幼稚園。その道中は観察修行。グループのおとな忍者のうち、1 人が先に出発。残りのメンバーは気づかれないように尾行しながら、途中で何を拾っているか観察する、という修行。気づかれそうになったら、隠れたり、何かに変身したりするのだ。

子ども忍者の隠れる姿、様になってる！！しかし、見つかるのを恐れて距離が開き過ぎ～。これじゃどんなもの拾ったか見えんよ。いざって時は変身の術があるじゃん！ってことで、距離をギュッと縮めていく。はじめグループで考えた“ベンチに変身”は難しいと思ったらしく、風呂敷を脱いで「風呂敷いらんかねぇ～」と風呂敷商人になったり、噴水になったり。本人たちは大真面目！道行く人たちは、さぞかし不審に思ったであろう(笑)

気づかれず尾行せよ!

電話する人に変身?笑

商店街ではヒントを元に、道場主を探す修行。合言葉は「今、何時ですか？」の問いに「中通２丁目商店街へようこそ！」。普通に時間を答えるお店は道場主ではない。子どもたちはヒントをもらうと、「美容院かも」とすぐさま駆け出し合言葉！「ヤッタァ見つけたぁ！」とトマトに報告し、次々ヒントをもらう。中には、道場主がいるはずのお店なのに「中通２丁目商店街へようこそ！」が返ってこない事件が発生！「道場主が代替わりしたんかもしれんね…」と、おとな忍者が機転を利かせたところ、子ども達は納得した様子だったらしい(笑)

続いて、道場主のお店に行ってインタビューし、顔をよく覚え、似顔絵と集めた情報をかく修行。黒忍者がいるので、くれぐれも見つからないように…。子どもたちは、黒忍者がいるかどうか確認しながら、情報収集へ。黒忍者を見つけるや否や、身を隠したり、変身の術を使ったりと、お見事！！

今年も多くのおとなと！忍者の層が厚くなってる！

今年は「なすび」こと、アフタフバーバンの代表:北島さんが、ぎっくり腰で来られなくなり、午前のワークは「トマト」こと、けーたさんを中心に行った。

まずは、朝起きた時間順にぐるりと並ぶ。「何時？」と声を掛け合う。一番早い人は、何と4時半！「早っ！」最後の人は9時半。早く起きた人と5時間も違う～！

他にも、トランプを使った新ワーク、グループで変身するワークと続いた。「アルプス一万尺」ならぬ「アルプス呉万尺」も編み出した！「いが餅」「呉氏」「潜水艦」「ヤブ」ランララ～！みんなノリノリ♪

そして、午後の観察修行のレクチャーを受け、実際に尾行をやってみて、準備完了。やっぱりこのワークが子どもたちを受け入れるために欠かせない。これあってこその忍者修行なのだ。

今年もおとなサポーターはじめ多くの関わりがあって、大きなケガ無く終えられた。毎年子どもたち楽しそう！兄姉が忍者をするのを見ていて、小1になって参加できるのを楽しみにしていたという子の、いい顔。見守る街の人々や交通整理のスタッフも笑顔になれる。サポーターは、発見もたくさんある。班の子を見て、「昔の自分を見ているようだった、自分の成長を感じた」という高校生も。「現場の雰囲気で内容など変化させていて面白かった。主催側も楽しんでいてよかった」というおとなも。12年の積み重ねで、忍者の層が厚くなっている。子どももおとなも本気で遊べる！！

なにより、中通2丁目商店街の皆さん、お忙しい中、どうもありがとうございました！！これからもこの関わりを増やしていきたいな。　(岡本)

きょうこの東京オトナLIFE vol.13

～好きなものを追い続ける～

みなさん、こんにちは。そしてお久しぶりです！最近ギックリ腰をやってしまいました、きょうこです(笑)

社会人３年目、仕事にも慣れてきて、色んなことをやらせていただく分、バタバタと忙しくなってきました。

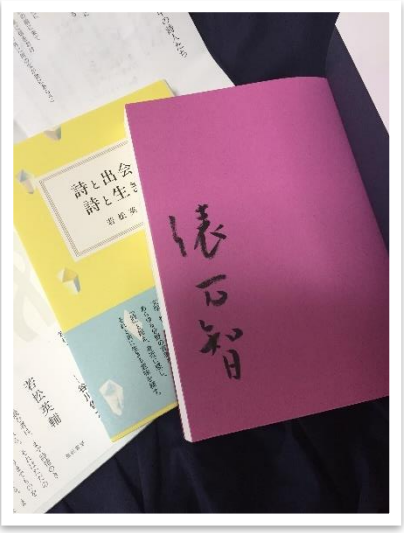
そんな私の、仕事の話を少ししてみようかと思います。(誰も興味ないだろうけど。笑)

私は、保育用品の販売や絵本の出版をしている会社で、広報をしています。

最近、実は、超巨匠・絵本作家の黒井健先生に取材でお会いしてきました！教科書にも載っている『ごんぎつね』や『手ぶくろを買いに』などは、皆さんもご存知なのではないでしょうか？

元々読書や国語が大好きでこの会社に入ったので、お会いする前はとても緊張…。でも、先生がご自身で豆から挽いた珈琲を入れてくださったり、すごく気さくにお話しいただいたりして、とても思い出深い経験になりました！

憧れの人に会うといえば！プライベートですが、先日大好きな歌人の俵万智さんの講演会にも参加し、お話をさせていただきました。



大学で短歌を研究したこと、俵先生が好きで研究したかったけど「生きている人を研究するのは難しい」と言われて諦めたこと、諦めたことを後悔していることを伝えて、ご本人からサインをいただきました。

学生時代に好きなものを追いかけた結果が、今の仕事や暮らしの「喜び」につながっているんだなぁ…と思うと、なんだか感慨深くなりました。

ティーンズplus 科学×ボランティア!?

岡山理科大学１年生の小迫玲奈です。私の通っている大学には科学ボランティアセンターという団体があります。ここでは、主に科学・工作を使ったブースやショー、授業等を様々なイベントなどで行っています。

今回、モンゴルで行ったボランティア活動について紹介します。センターから７人の生徒と５人の先生で、飛行機で寝た時間を入れて８泊10日間、モンゴルに行きました。まずは、モンゴルの学生さんと一緒にイベントを開催しました。最初は空気泡、レーザーの実験などをオープニングセレモニーで行いました。その後に、ブースを６つ開きました。

１つ目はブロアーを使った揚力の実験。２つ目は紫キャベツを使った酸・アルカリ反応の実験。３つ目は粉塵爆発などを使った燃焼と爆発の実験。４つ目はマグデブルクなどを使った大気圧の実験。５つ目はぞうの歯磨き粉などを使ったマジックバブルの実験。６つ目は音の可視化の実験をしました。一緒にイベントをすることでモンゴルの生徒さんとたくさん交流することができました。

その他には、モンゴルの高校生に向けての講師として先輩方がした電子レンジの授業の補助をしました。CLIL という授業の形式で日本語と理科を融合した授業を行いました。私たちも１年生２人でころりんという授業をしました。初めての１年生だけの授業でしたが、後悔だけでなく得た物もあったので、モンゴルで行えてよかったです。

もちろんモンゴルの観光をする時間もありました。ゲルの組み立てを見たり、馬に乗ったりしました！本当にいい経験になりました。

10 月 22 日(火・祝)二河峡公園 参加者約 100 名

いつもは秋の終わり頃に催す「いもに会」。今回は生きているうちに 1 回あるかないかの記念すべき天皇即位礼の日にやったよ！ 1 歳から人生経験豊富な方まで約 100 人が集まって、豚汁と焼き芋を作って、食べて遊ぶ。わざわざ不便な場所でやるっていうのが面白い。かまどは穴掘って作るし、水場はちょい遠い。つまり、やることがいっぱいで、色々工夫もいるってこと。「焚き木を取ってきて～」と、声をかけると子どもたちがせっせと枝を運んできて、枝の大きさを「すごいじゃろ～」と見せてくれる。2 歳くらいの男の子が枝を手に握れるだけ握って持って来るんだけど、火の中に入れるのは怖い様子で、何度も私に渡してくる。大きい子たちが投げ入れるのを見ていて何か思ったのか、ついに焚火にちょっと近づいてぽいっ、と投げ入れた！そこからはどんどん大胆に近づいては投げ入れていた。子どもがうまい具合にやり始める場面に立ち会うことができた。

今回参加した子ども達が大きくなって次の天皇即位があったときに「自分が子どもの時、即位礼の日にいも煮会やってねぇ、おもしろかったよなぁ」などと思い出話のネタになったら嬉しいな。 (上田実穂)

秋晴れの朝、スポーツ会館から、しゃべりながら景色を見ながらそぞろ歩き、到着後、焚き木を集めたり野菜を切ったりして豚汁を作る。「男の子たちがイチョウ切りが上手じゃわ」とか「中学生や高校生がテキパキ動いてすごい、うちの子もあんな風になって欲しいな」などの声が聞こえてきた。よその家の、しかも年齢が離れている子の様子を見ることや、他の大人がどう子どもたちと接するかを見ることってあまりないと思う。小学生はもちろん、2 歳の子にも焼き芋をくるんだり団子を丸めたりする役割があり、みんな嬉々としてやっていた。毎年参加しても、子どもはやりたいことやできることが変わるので大人は関わりながらその成長ぶりを楽しむことができる。コミュニケーションが苦手な人が増えてきたと言われる昨今、小さい子から小中高生、親や祖父母世代までが、みんなで協力して 1 つの物を作り上げるこんな活動は大事な機会だよね。

体をしっかり動かした後、自然の中で食べる豚汁。その味は格別で「2 杯おかわりした～」「俺 3 杯！」と大鍋 3 つは空っぽ。おいしいって、しあわせだ～。満腹のお腹をかかえみんなで遊ぶ「木とリス」。菓子食い競争は 2 年ぶりでこれまた盛り上がった。さらに今年もロープで、岩登りしたり綱渡りしたり、みんなが寄ってたかって何度も繰り返し遊んでいた。最後はおやつの焼き芋。黄金色のお芋はほっこり甘くておいしかった～。

子どもスタッフの都合が合わず、急遽、今年だけの祝日にやることに決めた「いもにかい」。YYY の SNS や、スタッフみんなが手持ちのチラシで広報しつ準備を進めた。慌ただしかったけど、その分スタッフも集中でき、気合が入って動きも良かった。例年より 1 ヶ月早いいもにかいはとっても爽やかで、およそ 100 人が秋の 1 日を満喫。協力してくれたみんなに感謝！　　(子ども活動部 久保直美)

2 by あや 母娘バリ日記

バリ島といえばバリ舞踊だ。私はおやこ劇場と共に育ったため、舞台や舞踊を観る事が好きだ。だから、バリでも観られるものは見ておきたいと思っていた。実は、バリの舞踊というものは、200 近くあるそうだ。しかし、神事なので観光客が観ることができる踊りは数種類のみだ。この旅で観る事ができた、レゴンダンスのお話をしたいと思う。

到着した次の日の夕方、母と私はレゴンダンスを観るためにウブドにあるサレンアグン宮殿に向かった。サレンアグン宮殿はウブドの町の中心だ。様々な人種が行き交いし、首輪のない汚れた犬(驚いたことにこれらは皆飼い犬らしい) が道路を避けとぼとぼと歩いていたり、煉瓦色のエスニックな寺院がそこかしこにあったりした。

ダンスまでは時間があったので、ウブド市場で買い物を楽しんだ。バリのオススメのお土産はズバリ、アタというシダ科植物の茎で編んだショルダーバッグだと主張したい。これは様々な形があり、値切れば 2000 円程度で買える。私と母はお土産と称して、2 個ずつ購入した。私は人にあげるのが惜しくなり 2 個とも自分で所有することにした。それくらい素敵なバッグなのだ。

買い物を楽しんだ後、簡単に夕食をとり、いざサレンアグン宮殿へ。宮殿は天井がなく、装飾的な門がいくつかあり、一番大きな門の前に舞台が設置されている。まさに星空の下のステージだ。

三十人ほどの男性がゾロゾロと出てきて舞台の両側に座る。1 人の僧が出てきて、舞台で水を軽く撒きながらお清めを行った。男性達がガムランの演奏を始める。一気に空気が変わり、音楽が全身に染み渡り心地よい。既にそこら中にバリの神々が見物に集まっているかのような空気感だ。南国の鳥のようなカラフルな衣装を着た女性達が登場し、ダンスが始まった。

すごい角度に反らせた手が生き物のようにひらひらと舞い、目を大きく見開きクルクルと舞う。不思議な動きで、目が離せなくなる。ジワジワと癖になる感じだ。現に、私は日本に帰ってからガムランの CD を買ってしまったし、バリ舞踊にも興味を持ったが広島では習うところもないようなので音楽だけで我慢しようと思う。と、いうほどにハマってしまった。不思議な魅力があるのだ。是非とも多くの人に見て頂きたい。

ダンスの公演が終わった頃には、とっぷりと世も更けて別世界に飲み込まれてしまったかのような感覚だった。ホテルに戻る車中から真っ暗な街並みを見ると、所々にあるオレンジ色の光の中に人々の日常が見えて異国に来たことを実感するのだった。　　(つづく)

■発行日:2019 年 10 月 25 日(毎月 1 回発行)■発行責任者:米本美千恵
■発行元:特定非営利活動法人 呉こどもNPO センターYYY 〒737-0051 呉市中央 3 丁目 11-12PANビル3F
■連絡:0823-24-5646■WEB:http://kure-yyy.org